デトロイト日本商工会月刊会報
Views
1
2022
Issue 334

総領事新年のご挨拶

在デトロイト日本国 総領事 進藤（しんどう） 雄介（ゆうすけ）

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

ミシガン州が米国の他の州と比べ、コロナウイルス感染状況が非常に悪いという厳しい状況の中でお正月を迎えることになりました。残念ながら昨年はコロナのためにいくつかのJBSDの行事も中止を余儀なくされました。生活面でも仕事の面でも厳しい状況がまだまだ続きますが、感染症対策等しっかり講じ、健康にお過ごしいただければと思います。

昨年7月にパキスタンからデトロイトに異動してから、ホイットマー州知事をはじめとする州政府関係者、市長など多くの自治体関係者等にお会いする機会がありました。ミシガンの人は本当に親日的な感情を持ち、日本との関係の強化を期待していることを実感します。

先日、あるミシガン州の大学の学長とお会いしたときに、この方が「アメリカの文化などありません」とおっしゃっていました。実はこのセリフは私がカリフォルニアに住んでいたときにも耳にしました。移民の国であるアメリカはそれぞれの移民の母国の文化を持ってきたのであり、アメリカ固有の文化はあまりないということを言いたかったのかと思います。たとえば、多くのアメリカ人がピザを好んで食べるからといって、ピザがアメリカの文化であると言えば、イタリア人は怒るかもしれません。

では、アメリカの文化、アメリカらしいものとして何があるでしょうか。私がすぐに思いついたのはアメリカン・フットボールです。そしてもう一つ。アメリカは自動車社会だということです。一人一人が自動車を持ち、生活も仕事も移動するときは自動車を運転する。鉄道などの公共交通機関が他の国のように発達していない。このような自動車中心の生活はとてもアメリカらしいと思います。

このアメリカの自動車文化の原動力であり続け、自動車関連産業が集中しているのがデトロイト地域です。ここでは人が集まり雑談をすればしばしば自動車の話題になります。多くのJBSD会員の方も自動車関連産業に携わっておられると思います。

自動車産業はまさに電動化、自動運転化に向けた大きな変革期にあります。この変革期においてミシガンの関係者が日本企業との連携に大きな期待を寄せていることを感じます。世界に誇る自動車を産み出し続けてきた日本企業は自動車産業の新たな時代においても先頭を走り続けて欲しいと思います。総領事館としても当地での日本の企業の活動を支援してまいりたいと思います。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

今月のViews

総領事新年のご挨拶 1
在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックス ... 2–3
2021年インドア・サッカー大会開催 4
リレー随筆：僕の旅はいつもとらぶ～る 5
特別寄稿：クランブルックと日本 6–7
イベント情報 8
編集委員のひとりごと 8
今後のJBSD 行事予定 10
事務局長だより 10

デトロイト日本商工会（JBSD）連絡先：デトロイト日本商工会に関するご意見、ご要望等は右記までご連絡ください。 T: 248 513 6354 F: 248 513 6376 jbsdmich@jbsd.org https://jbsd.org

© 2022 JBSD. All rights reserved. 01-22 Designed by JT&D. Opinions expressed here are those of the authors and do not necessarily reflect those of the JBSD.

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックスとお知らせ

日本への入国をご予定の方へ

※以下の情報は、12月15日時点の状況に基づくものです。最新の情報については、必ず当館ホームページ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html や各州ホームページ等でご確認ください。

日本への入国時は、出国前72時間以内に新型コロナウイルスの検査を受け取得した陰性証明の提出が求められ、到着空港でも改めて検査を受ける必要があります。このほかにも、入国後自宅等での待機や公共交通機関の不使用、LINEアプリ等での健康フォローアップ等、入国後の様々な防疫措置を遵守する旨の誓約書を提出することが求められます。日本への入国をご予定の方は必ず以下の資料をご確認ください。

なお、11月29日、オミクロン株に対する緊急避難的対応として、予防的観点から当面1か月の間、水際措置の強化が決定されました。11月30日以降、有効なワクチン接種証明保持者に対する行動制限緩和措置に係る新規申請受付及び審査済証の交付を停止すると共に、12月1日以降の帰国者・再入国者等について、有効なワクチン接種証明保持者に対する3日間停留措置の免除及び待機期間短縮措置（14日→10日）を停止しています。

厚生労働省からの案内

- **【重要情報】海外から日本へ来られる方すべての方へ**
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html
- **「出国前72時間以内の検査証明書」の提示**（※ 下記当館資料も併せてご参照ください）
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html
- **誓約書の提出**
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00249.html
- **スマートフォンの携行・必要なアプリの登録**
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00250.html
- **質問票の提出**
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00251.html
- **新型コロナウイルスに関する相談・医療の情報や受診・相談センターの連絡先**
  www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html

当館からの案内

- **外国人の新規入国の停止（発行済み査証効力の一時停止）について**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100267412.pdf
- **「出国前72時間以内の検査証明書」に対応する当地医療機関**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00142.html
- **2021年6月21日付け当館領事メール（変異株流行地域へのミシガン州の指定解除）**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100202670.pdf
- **2021年4月28日付け当館領事メール（変異株流行地域へのミシガン州の追加指定）**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100183460.pdf
- **2021年4月16日付け当館領事メール（日本入国時の検査証明確認の厳格化）**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100177630.pdf
- **2021年3月12日付け当館領事メール（出国前検査証明の要件緩和）**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100159325.pdf

外務省からの案内

- **新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置について**
  www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page4_005130.html#section4
- **新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（オミクロン株に対する水際措置の強化）（2021年11月29日付広域情報）**
  www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2021C145.html
- **日本での新型コロナウイルス・ワクチン接種を希望する海外在留邦人等の皆様へのお知らせ**
  www.anzen.mofa.go.jp/covid19/vaccine.html
- **検査証明書の確認について（本邦渡航予定者用Q&A）**
  www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100235754.pdf

米国の新たな水際措置:
ワクチン接種証明書提示の義務化について

10月25日、バイデン米大統領は、米国に空路で入国する渡航者に対する新たな水際措置を布告（11月8日施行）しました。

11月8日以降、空路入国する非移民（非米国市民、非移民ビザ所有者）の入国には、**1. ワクチン接種証明の提示、2. 出発前検査結果（陰性証明）の提示、3. 米国滞在時の連絡先情報の提供** が必要となっています。

詳しくは、当館HP及び米国疾病予防管理センター（CDC）HPをご確認ください。

当館案内： www.detroit.us.emb-japan.go.jp/files/100255223.pdf
CDC: www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/travelers/proof-of-vaccination.html

ミシガン州保健局による屋内マスク着用に関する勧告

11月19日、最近のミシガン州の感染状況の悪化を受けて、ミシガン州保健局は屋内におけるマスク着用に関する勧告（Advisory）を発出しました。

主な内容は、**1. ワクチン接種完了の有無にかかわらず、年齢2歳以上の者は屋内の集まりにおいてマスクを着用することを勧める。2. 各機関や施設等は従業員を含め利用者に対するマスク着用を促すルールを実施することを勧める。3. 本勧告は次回の通知まで有効である。**となっています。
詳細については、以下のリンクをご確認ください

ミシガン州関連リンク: www.michigan.gov/coronavirus/0,9753,7-406-98158-572726--,00.html

当館へお越しいただく際にご留意いただきたい事項（予約制）について

現在、新型コロナウイルス対応として、在留邦人の皆様が領事窓口を安全にご利用いただけるよう、待合室での密集・密接を避けるための措置として、当館領事窓口は予約制となっています。来館に当たっては、事前に電話等にて来館時間を予約くださいますようお願いいたします。

Tel: 313-567-0120（代表）

また、体調がすぐれない場合は体調が回復してからお越しいただきますようお願いいたします。タワーエレベーター内はマスク着用となっています。また、当館内についてもマスク着用をお願いしています。

詳細は、当館HPをご確認ください。
www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

当館ホームページ及び領事メール登録のご案内

当館ホームページでは、ミシガン州及びオハイオ州の感染者数の推移を始め、当地における新型コロナウイルスに関する最新情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

総領事館ホームページ▼
www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

また、在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種のお知らせをEメールで速やかにお送りする領事メールを、当館の在留届、メールマガジン又はたびレジに登録されたメールアドレスに送信しています。領事メールでは、新型コロナウイルス感染症に関する日本及び米国における新たな措置等の最新情報や、州政府等による夜間の外出禁止制限等、また、各地での抗議活動に関する情報等をお送りしています。

当館からの領事メールの登録を希望される方は、以下のリンクから登録を行ってください。帰任に伴う領事メールの配信停止には、帰国届の提出、メルマガ登録やたびレジ登録の解除が別途必要となります。

在留届、帰国届の提出▼
www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html
メールマガジン登録▼
www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/emagazine.html
たびレジ登録▼
www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register

JBSD イベント報告

スポーツ部会・補習授業校サッカースクールFCRobins 97共催

2021年インドア・サッカー大会開催

2021年10月24日（日）、恒例のJBSD並びにデトロイト補習授業校サッカースクールFC Robins 97共催によるインドア・サッカー大会が開催されました。

本年は2020年から続くコロナ禍での開催となり、オハイオ補習校チームからの招待はなく、会場も例年開催していたWixomのTotal Sports ComplexからNoviへ移しミシガンチームのみで開催となってしまいました。例年とは大きく異なる状況でしたが、JBSD様、生徒、保護者の皆様、また、本大会の準備、運営にご協力いただいたBrilliant様、FC Robins 97各学年コーチ各位様、そして何よりも9月からの練習再開にも関らず、日頃の頑張りと大会を盛り上げてくれたミシガン補習校の生徒達とそれをサポートしていただけた保護者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。皆様のご協力なしでは開催できませんでした。本当にありがとうございました！

さて、気になる大会の内容をここで少し紹介させていただきたいと思います。大会場所は、Brilliant様ご協力のもと、Total Sports Complex Noviで開催されました。こちらの会場もWixomの会場に劣らず非常に立派な施設です。今大会はミシガン補習校、補習校以外の生徒併せて約100名、保護者様、ご家族総数併せると非常に大きなイベントとなりました。コロナ禍での開催となったため、大変なご不便をおかけしましたが、いざ、大会が開催されると勝負に対するこだわりも非常に強く、学年を超えた熱戦が繰り広げられました。また、各学年で行われた毎年恒例の親子サッカーも盛り上がりを見せ、日頃の運動不足が嘘のような軽快な動きを見せる保護者の方も多く、子供相手にも関わらず手加減しない真剣勝負も見受けられました。

今大会は規模を縮小しての開催となったため、非常に残念ながら順位をつけて勝敗を争うことはできませんでした。しかしながら、限定された状況下においても今回の大会を通して、サッカーの楽しさを感じることができ、素晴らし一日を過ごすことができました。

最後にインドアサッカー大会担当コーチを代表して、色々と至らなかった点、改善が必要と思われる点を反省し、次回担当コーチに繋げ、来年こそはパンデミックが収束し、この素晴らしいイベントが続けられていくことを願っています。

（FC Robins 97 コーチ一同）

JBSDからのお知らせ

トルネード被災地への復興義援金募集

各種ニュースで報じられておりますが、12月10日から11日にかけて米国南部から中西部で発生した大規模な竜巻により多くの方が被災されました。今回の竜巻により犠牲になられた方々には心よりお悔やみ申し上げます。JBSD 事務局と致しましては、被災された方々を支援するための義援金を募っております。

応募方法は、JBSD ウェブサイト（https://jbsd.org）をご覧願います。

283回 リレー随筆

僕の旅はいつもとらぶ～る

SMK Electronics Corporation
市川（いちかわ） 洋治（ようじ）

僕とミニバン@Daytona Beach

僕が日本で未だ独身で若かった頃（今も若いが）よく一人旅をした。しかし旅に出ると毎回何かが起きた。マニラでは誘拐され拳銃で脅されて所持金の全てを奪われたし、ディスコ（古っ）で感電して死にかけたこともあった。カラチ経由で来た飛行機に乗れば飛行中の客室に毒蛇が出現し機内が大パニックになったこともあった。バンコクでは帰国するフライトの10時間前に財布とパスポートの入ったバッグを路線バスに置き忘れてしまったが出発2時間前に奇跡的に中身もそのままのバッグが見つかり無事帰国できたなんてこともあった。その後結婚しアメリカに移り住み家族旅行をするようになってからも旅先で色々と起きた。でもその殆どは当時乗っていたミニバンに纏わるものだった。

僕はアメリカに来た頃はお金が無くて（今も無いが）安い中古のミニバンに乗っていた。ミニバンにしたのは当時ウインドサーフィンをしていてボードやらマストやら道具を詰め込むのに便利だったからだ。如何せんお金が無いので家族旅行も飛行機ではなくいつもミニバンで旅をした。でも10万マイルを超えた中古のバンは故障が多く数々のトラブルに見舞われた。しかしその度に途轍もなく親切な人達に助けられた。

それはノバイの自宅からインディアナの友人に会いに行く途中で起きた。I94を西に向かって走っていたら突然異音がしてボンネットから白い煙が吹き上がった。前が見えないのでそろそろと運転しながらなんとか次のレストエリアに辿り着きボンネットを開けてみるもメカ音痴の僕には何が悪いのか皆目見当もつかない。周りにいる人達に助けを求めても誰一人相手にしてくれない。諦めかけて最後に声を掛けたのはこれからシカゴに遊びに行くという赤ん坊連れのアフリカ系の若い夫婦だった。夫婦共に車に詳しいらしく、泣く赤ん坊を交代であやしながらエンジンルームを覗いてくれるが結局何かが壊れていて直しようがないと言う。でも信じ難いことに彼らは哀れな僕を見捨てずに自分達の車で近くのオートショップに部品や工具を一緒に買いに行ってくれただけでなく3時間もかけてレストエリアで修理してくれたのだ。僕は感激のあまり所持金の全てと友人のお土産に買っておいたHippoの菓子パンまでお礼に渡したがそれでも足りない位の気持ちだった。別れ際に尋ねたらその夫婦は2人とも同じFordの工場で働くメカニックとのことで道理で車に詳しい訳だ。因みに僕のバンはGMだった。

次のトラブルはカナダ最南端のPoint Peleeという国立公園に遊びに行った帰りに起きた。デトロイトとウィンザーを結ぶアンバサダーブリッジまであと10Kmという地点で突然車のメーターが狂った様に上下に振れ始め暫くしたら車が止まってしまった。

その頃の僕には少し車の知識が付いていて故障原因はオルターネーター（発電機）だと判った。運良くオートパーツの店が視界に入ったが運悪くその日はカナダの休日で店は閉まっていた。仕方なく路肩に向かって大きなミニバンを後ろから必死で押していると車で通りかかったカナダ人の老夫婦が見かねて僕達家族を拾って自宅に招いてくれた。夕食までご馳走してくれたが流石に泊まるわけにもいかず会社の先輩夫婦に国境を越えて迎えに来て貰い深夜にノバイの自宅に戻れた。翌朝一番に妻の車で新品のバッテリーを買いに行きその足で隣国の路肩に放置してきたバンに戻りバッテリーを交換。妻の車に後続して貰い、消費電力も最小にそろそろと橋を渡りアメリカに再入国、その足で修理工場に駆け込んだ。

最後はシカゴで遊んだ帰りにガス欠になった話だ。I94の路肩で途方に暮れていたらボロボロのトラックがやって来て中から前歯が一本しかないおじさんが現れた。おじさんは長さ10m位の麻のロープを出してきて次の出口のガススタンドまで牽引してくれると言う。ロープが切れるから絶対にブレーキは踏むなよと言われた。路肩を低速でそろそろと引っ張って貰うがおじさんのトラックにぶつかりそうになるのでどうにもブレーキを踏んでしまう。その度にロープはぶちっと切れおじさんもキレた。ロープもおじさんの気も短くなりながら漸くスタンドに滑り込んだ。僕は感激のあまり所持金の全てをおじさんに渡そうとしたがおじさんは頑なに受け取らない。せめて名前だけでもと聞くと『俺はHillbillyだ。お礼なんか要らないからお前も困った人を見たら助けるんだ。』と言い残して去って行った。歯は無いけどカッコ良かった。

あれから10年僕は一体何人の人を助けただろうか？ 数ヶ月前に路肩でパンクして困っている人を見かけたがゴルフに間に合わないので素通りしてしまった。でも後味悪くその日のゴルフはボロボロだった。その時の埋め合わせをしたいのか僕は歯のないおじさんの言葉を思い出し、困っている人を見たら次こそ助けようと車を走らすのだ。

次回はゴルフでお世話になっているPGAゴルフインストラクターの野村祥子さんにお願いしました。お楽しみに。

特別寄稿 第7回

クランブルックと日本

執筆者 樋田（ひだ） 真実（まさみ）

新年あけましておめでとうございます。クランブルック・コレクション研究所（別称：CCCR）にて理事を務めております樋田真実と申します。

CCCRとは

ブルームフィールド・ヒルズに位置するクランブルック教育コミュニティの一部門であるCCCRは、コミュニティが有する歴史的に重要な美術品や建築物・景観を一般に公開・発信する目的で2012年に創立されました。フィンランド建築家エリエル・サーリネン作のコミュニティは国定歴史建造物でもあり、美術学院を筆頭に学校、美術館や科学館を含み、これら建築物やその内装・美術品を講演会やツアーを通じて国内外の参加者に紹介しております。中でもクランブルックが発祥地！といっても過言ではないミッドセンチュリーモダンに関する建築史は毎年人気の講演です。

ところでクランブルックは日本人コミュニティと深い関わりがあることをご存知ですか？

美術学院での日本人学生と補習授業校の始まり

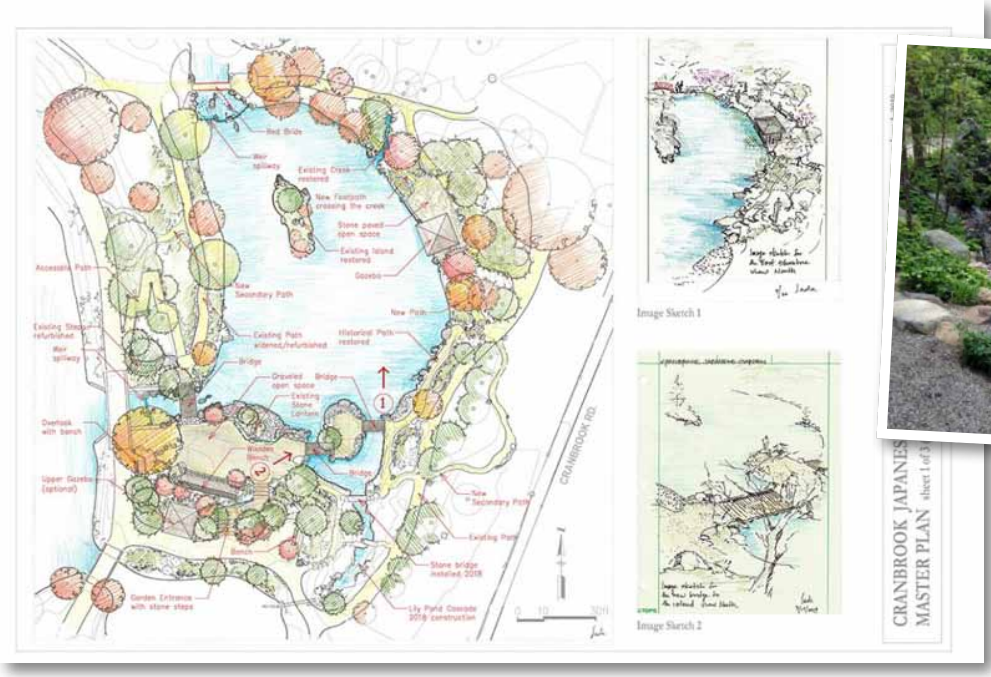
そもそもこのコミュニティが20世紀初期に農村一帯であったブルームフィールド・ヒルズにできたのも、デトロイト新聞王であった創設者ジョージ・ブースが邸宅を含む広大な敷地を購入したのが始まりです。

1920年代中頃、ブース家の息子がミシガン大学で渡米したばかりのサーリネンの教え子であったことからコラボは始まり、学校そして美術学院の校舎構築から手掛けます。サーリネンは美術学院の初代学長となり1950年まで建築科と都市設計科の学部長も務めます。創立以来、強制収容所を逃れて建築の勉強に来たジョージ・マツモト（45年卒）を筆頭に、数々の商業用建築デザインを手がけたギョー・オバタ（46年卒）、日本からの学生第一号として日本現代建築を代表する建築家槇文彦氏（53年卒）などざっと120人以上の日系人がこの美術学院を卒業しています。

70年代前半に補習校を開校するにあたり、場所確保に苦労したデトロイト日本人会は、当時美術学院で勉強していた学生の口利きもありクランブルック小学部校舎を無料で借用することになります。73年設立当初23名の生徒に駐在員奥様方や美術学院学生などが教師として入り、手作り・手探りで学校が営まれていたそうです。こうして8年間で生徒数が140人近くなり、より広い校舎を求めて移動するまでクランブルックの一角で毎週末授業が行われていました。美術学院以外でもクランブルックは多くの日本人学生教育の一環であり、また多くの日系企業がこの地で開業するベースとなったとも言えるでしょう。

クランブルック日本庭園

世界の様々な流行に敏感だったクランブルック創設者ブースは、19世紀中頃から欧州中心に大流行していたジャポニズムにも多大な興味を持ち、1915年のサン



内山氏による日本庭園のマスタープラン

修復されたリリーポイントカスケード

CCCR:
https://center.cranbrook.edu

クランブルック日本庭園:
https://center.cranbrook.edu/visit/japanese-garden

フランシスコ万博に出展していた横浜植木から灯籠と植木をいくつか購入して個人庭園の築造にかかります。これが現存するクランブルック日本庭園の始まりとされてます。しかし、1920年代から30年代にかけて美術学院や学校構築などの敷地内の活性化、それに続く戦争そしてブースの死去により日本庭園は結局完成に至らず徐々に放置され、70年代頃からボランティアグループによって様々な取り組みはなされたものの、一貫性の欠く試みに終わっていました。

そこでCCCRは2016年に日本庭園を傘下に置き、2018年ポートランド日本庭園のチーフ・キュレーター内山貞文氏に庭園復興マスタープランを依頼。また在デトロイト日本国総領事館のサポートを通じて国土交通省の「海外日本庭園再生プロジェクト」の支援庭園として選定され、6名の造園技術者を日本からお迎えします。内山氏のガイダンスのもとアッパーペニンシュラから調達された様々な岩石と、地元で仕入れ可能の植物を活用し、わずか一週間足らずで庭園の一部が見事に修復されます。この時期と並行してCCCRでは日本文化関連の講演会・お茶会などのイベントを敷地内にある様々なスペースにて開催し始めます。

日々自然と向き合う内山氏の物事に対する見方に度々心動かされたことは、この仕事をする喜びでもありました。日本庭園を千年単位で捉え、「たまたま発祥の地が日本だというだけであって本来は世界に貢献するために生まれてきたものかもしれない」と指摘する内山氏は日本庭園の普遍性に注目されています。「日本だけで通用する常識や当たり前といった考え方を捨て、それでも残る多くが共感できる日本庭園独特の姿勢は庭園の強みとなり人の心を動かす」と。それ故に、クランブルック日本庭園が目指すのは、この地特有の植物、気候、そして度々氾濫するルージュ川の分流を厄介なものとして排除・制御しようとするのではなく、その特性を逆に利用して庭園をこの地のものにし、国境や人種にかかわらず人の心を動かすことができる空間作りなのではないでしょうか。

考えてみれば、この地を踏んだ多くの日本人留学生、駐在員とそのご家族は同じようにして多様な価値観を柔軟に受け止め、試行錯誤しながら自分らしい強みを見出してきたように思われます。

クランブルック日本庭園の完全修復までまだまだ多大な知恵・協力・時間と財源が必要ですが、より多くの来訪客に安らぎを与えたいという目的ははっきりしております。パンデミックが収束し、皆様にまたこのキャンパスをご利用頂けることができたら心から嬉しく思います。

最後になりましたが、JBSD基金からは2021年、2022年の庭園修復活動にグラントを授与していただきました。

この場をお借りして、改めまして深く御礼申し上げます。

執筆者: 樋田（ひだ） 真実（まさみ）
クランブルック・コレクション研究所 理事

名古屋市出身。生保勤務そしてMBA取得後、外資系金融にて主に証券化商品担当。97年以来米国在住でここ10年は専業主婦。高校生2人の母。

イベント情報

注：掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認してください。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じても、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承ください。

特別イベント
屋外スケートリンク場

ブレークス・ファーム・スケートリンク
Blake's Farms Skating Rink
17985 Armada Center Rd., Armada
www.blakesfarms.com/winter-skating

キャンパス・マティウス・パーク
The Rink at Campus Martius Park in Detroit
800 Woodward Ave., Detroit
www.downtowndetroitparks.com/parks/campus-martius

屋外イベント

デトロイト・リバーフロント・ウィークエンド
Winter at Valade Park Detroit
https://detroitriverfront.org/winteratvalade
金：　4:00pm–9:00pm
土：　12:00pm–9:00pm
日：　12:00pm–7:00pm

ファイヤー・アンド・アイス
Fire and Ice
1月14日（金）–16日（日）

ウィンター・アラウンド・ザ・ワールド
Winter Around the World
1月28日（金）–30日（日）

ワレン・コールド・ラッシュ
Warren's Cold Rush
One City Square, Warren
1月22日（土）2:00pm–9:00pm
www.cityofwarren.org/events/warrens-cold-rush

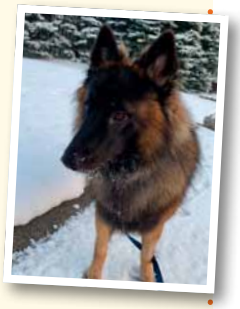
バーチャル講演会

クランブルックコレクション研究所
Cranbrook Center for Collections and Research
https://center.cranbrook.edu/events

アメリカ近代建築史 – 全5回シリーズ
The History of American Architecture – 2022 Series
1月31日（月）–2月28日（月）
毎週月曜：11:00am–12:15pm
or 7:00pm–8:15pm

「みんなのペット自慢！」コーナー

No. 3 シンバ



ベルジアン・シェパード・ドッグ・タービュレンの男の子シンバ、1歳。旦那のわがままで突如やってきましたが、臭いも抜け毛も控え目で意外と飼いやすい。誰の股にも顔を突っ込んでしまう程の人間大好きっ子です。

（A.Y.）

Viewsでは「みんなのペット自慢」コーナーへの投稿を随時募集しています。
写真と100字以内の簡単なコメントを添えて**views@jbsd.org**までお送りください。

MISIAウィンタースポーツプログラム
Michigan Snowsports Industries Association

COLD is COOL! プログラム

寒い冬に体を動かして、子ども達にウィンタースポーツの楽しさを知ってもらおうというプログラム。3回分のリフト券又はトレイルパスが無料になります（大人1名のリフト券購入要）。事前予約、アプリのダウンロードが必要です。

期　間：　4月末まで
場　所：　プログラムに参加している州内約30カ所のスキー場
料　金：　初回プログラム登録料$25
対　象：　ミシガン州内在住小学4年生・5年生のスキー・スノーボードのビギナー

Discover Michigan Skiing/Snowboard

ウィンタースポーツをリーズナブルな価格で楽しんでもらおうと、州内のスキーエリアとマクドナルド共催によるプログラム。事前予約が必要です。

期　間：　1月2日（日）–31日（月）
場　所：　プログラムに参加している州内約20カ所のスキー場
料　金：　$45（スキー・スノボレンタル、ビギナーレッスン、リフト券又はクロスカントリーパス含む）
対　象：　スキー7歳以上・スノーボード10歳以上のビギナー

詳細はMSIAウェブサイト（www.goskimichigan.com）にてご確認ください。

編集委員の独り言

2020年から2021年にかけて、コロナパンデミック、アメリカ南部でのアイスストーム、半導体供給不足と世界経済に影響する出来事が続き、まだまだ出口の見えない日々が続いています。
ただ、そんな中夢の持てる、元気が出るニュースも数多くありましたね。オリンピックでの日本の活躍（金メダル27個 おめでとうございます）は、記憶に新しいところ、そうそうメジャーリーグで大谷翔平の二刀流が大活躍（ア・リーグMVP受賞やってくれますね）。また、いよいよ民間人も宇宙旅行ができる時代に突入（といっても、まだお金持ちのみの特権ですが）。来年も又、まだまだ遠い先の話だと思っていた夢物語が、思いもかけず現実となるかもしれません。そんなワクワクするような出来事が沢山起こることを楽しみにしています。
2022年が皆様にとって素敵な一年になります様に、また皆様の健康と幸せを願い、2022年最初の独り言とさせて頂きます。今年もよろしくお願いいたします。　F.M.

JBSD
2022
New Year's
Party
JBSDオンライン新年会
八神純子SHOW
Sunday, January, 30th
1:00pm Start
参加資格: JBSD 法人会員社員・個人会員とそのゲスト
参 加 費: 無 料
定 員: 1,000 名（定員になり次第締め切り）
お楽しみ: 抽選によりギフト券が当たります
申込方法: https://jbsd.orgよりお申込みください
締め切り後に参加用リンクをお送りします
お問合せ: JBSD事務局
Email: jbsdmich@jbsd.org • TEL: 248-513-6354

Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.
Suite 202, Novi, MI 48375

今後のJBSD行事予定

January 1月

JBSD 商工部会・BDO USA LLP 共催
税務ウェビナー
日　時: 1月14日（金）3:00pm–5:00pm
テーマ: 第一部:
Form 1042/1042-S、W8-BEN-E
コンプライアンス
第二部:
2021年度アメリカ個人所得税–
よくある質問集

JBSD 新年会
日　時: 1月30日（日）1:00pm–
詳　細: P.9フライヤーをご参照ください

お申し込みについてはJBSD ウェブサイト（jbsd.org）をご確認ください

デトロイトりんご会補習授業校 講師募集中！

デトロイトりんご会補習授業校では、明るく元気で
子供大好き、やる気溢れる講師を募集しています。
詳細は**www.jsd.org/teacherwanted**をご覧ください。

※QRコード読み取り可能な携帯電話で左記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプします

事務局長だより

皆様あけましておめでとうございます。

一昨年3月から勃発したコロナ禍は未だ先行き不透明な面もありますが、科学の力で開発された有効なワクチンにより、状況は改善されつつあるのではないかと思います。

振り返りますと、2021年JBSD活動予算が策定された昨年1月の時点では、ワクチン接種の進行と共に、年後半には屋内イベントも再開できる環境が整ってくるのではないかと考えておりました。しかしながら変異株の出現等により、屋内イベントを実施できる環境には至らず、ボウリング大会、蚤の市、日本祭り、ひな祭りなど主な屋内イベントは中止に追いやられる残念な状況となりましたが、一方では部会・委員会の常任委員のご尽力のお陰で、屋外イベント、バス旅行等が無事に実施され、多くのご参加者に楽しんでいただくことができました。

今年は十二支でいうと「寅」の年にあたります。語源を調べてみると、草木が伸び始める状態を表すと言われています。いっぽう、昨年の干支であった「丑」は、芽が出かかっているが未だ地上に出ていない状態、伸びきれずにいる状態を表すとの記述がありました。無論これらの解釈は一説で他にも色々な解釈がされていると思いますが、個人的な感想として、今年はポストコロナに向けた新しい芽が出て育っていく年になって欲しいと願います。

日本語版「妊娠・出産・育児ガイド」配布のお知らせ

在留邦人応援プロジェクトとして、JBSD・ミシガン大学家庭医療学科共催によるプログラムを実施してきましたが、このたびミシガン大学により日本語版「妊娠・出産・育児ガイド」が作成されました。
ご希望の方には無料にて配布いたします。JBSDからの配布は、ミシガンにお住まいの妊娠中の方で、現在ミシガン大学以外の病院を受診されている方が対象です。ミシガン大学で受診されている方は、受診の際に申し出てください。

ご希望の方は jbsdmich@jbsd.org までＥメールにて下記の内容を記載の上お申込みください。

- タイトルを「妊娠・出産・育児ガイド希望」として
- お名前と受診病院名
- 受け取り方法:JBSD 事務局で受け取り、または郵送（郵送希望の場合はご住所を記載してください）